

# 漁況情報の収集・管理及び提供

福田 将数

## 1. 目的

本県周辺漁業資源の適切な管理を行うため、関係漁協の協力により毎月のセリデータ収集及び漁獲統計等を整備し、漁況情報等を漁業者及び水産関係者に提供する。

## 2. 方法

現在、県内 22 漁協と漁連から、毎月のセリデータを F D または M O もしくはセリ帳の形で入手し、また参考のために大島支庁がとりまとめた奄美大島の情報を FAX で提供を受けている（表 1）。入手したこれらの情報は、水試でデータベース化後、毎月それらを基に各漁協ごとに魚種別、旬別漁法別漁獲量等の月報を発行している（図 1）。また、漁況及び海況情報をとりまとめ、毎月、漁海況情報を発行している。特にソデイカ漁期中は、県内 24 漁協のソデイカ水揚げ量を集計したソデイカ月報を毎月発行し、更に全国 13 県のソデイカ漁獲量を集計したソデイカ情報を年 1 回作成し、水産関係者に広報している。また、本部漁協のカツオ竿釣り漁業については、銘柄別漁獲量等を集積・管理している。

## 3. 結果

2004 年の沖縄島中南部 4 漁協（糸満、港川、知念、沖縄市）のパヤオでのキハダ（10kg 以上）の漁獲量は 329 t で、過去 5 年平均の漁獲量 355t をやや下回った（図2）。シビ（10kg 未満）の漁獲量は 236t で、過去 5 年平均の漁獲量 284t を下回った（図3）。2004 年 11 月～2005 年 6 月（2004-2005 期）の全県のソデイカ漁獲量は、前期を下回る約 2,321t だった。また、過去 5 年平均の漁獲量 2,158t を上回った（図4）。本部漁協の 2004 年のカツオ竿釣りの漁獲量は 172t で、過去 5 年平均の漁獲量 131t を上回った（図5）。

## 4. その他

今後とも沖縄県の有用水産資源を継続的に利用していくには、資源の適切な管理やその他諸施策を積極的に推進していく必要がある。そのための重要な基礎資料である統計データは、継続的な蓄積が不可欠であり今後とも当該業務を継続していく必要がある。

表 1. 漁獲データ回収状況

漁協名	セリ実施	データ回収	ソデイカ情報
国頭	○	○	○
名護	○	○	○
恩納村	○	○	○
読谷村	○	○	○
浦添・宜野湾	○	○	○
那覇市沿岸	○	○	○
那覇地区	○	○	○
糸満	○	○	○
港川	○	○	○
知念村	○	○	○
与那原・西原町	○	○	○
中城支所	○	水試で入力	×
沖縄市	○	○	○
勝連	○	○	×
与那城町	○	○	○
石川市	○	○	○
金武	○	○	○
久米島	○	○	○
平良市	○	○	○
伊良部町	○	○	○
八重山	○	○	○
与那国町	○	○	○
県漁連	○	○	×
嘉手納町	○	×	×
北谷町	○	×	×
池間	○	×	×
今帰仁	×	×	○
本部	×	×	○
羽地	×	×	×
宜野座村	×	×	○
石川(具志川支所)	×	×	○
南原	×	×	×
玉城村	×	×	×
伊平屋村	×	×	×
伊是名	×	×	×
伊江	×	×	○
渡名喜村	×	×	×
座間味村	×	×	×
粟国村	×	×	×
渡嘉敷	×	×	×
奄美大島	大島支庁がパヤオ関連7魚種の漁獲量をとりまとめ、数ヶ月に1度、沖縄県水産試験場にFAX送信		

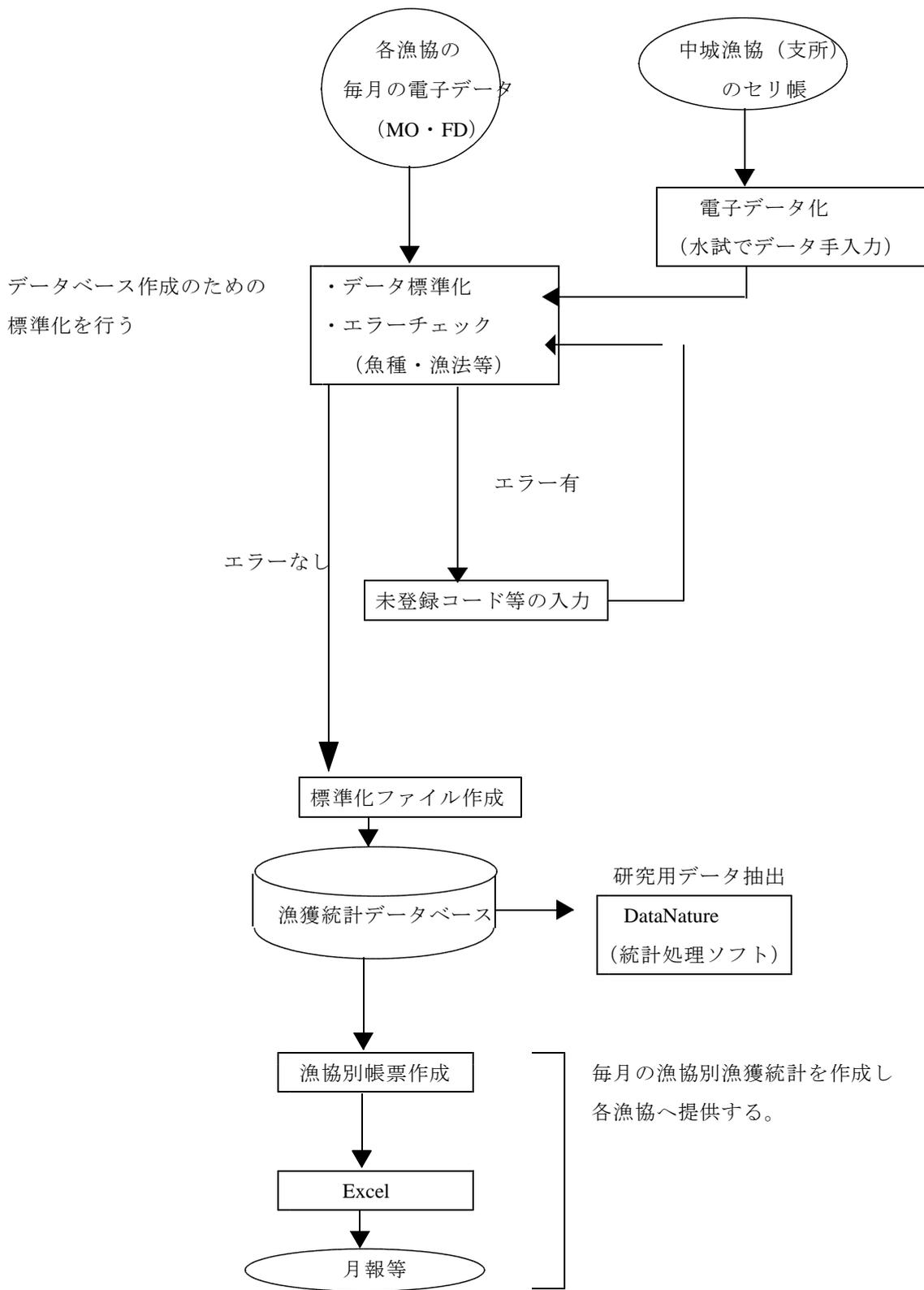


図 1. 沖縄県水産試験場漁獲統計処理システム概要

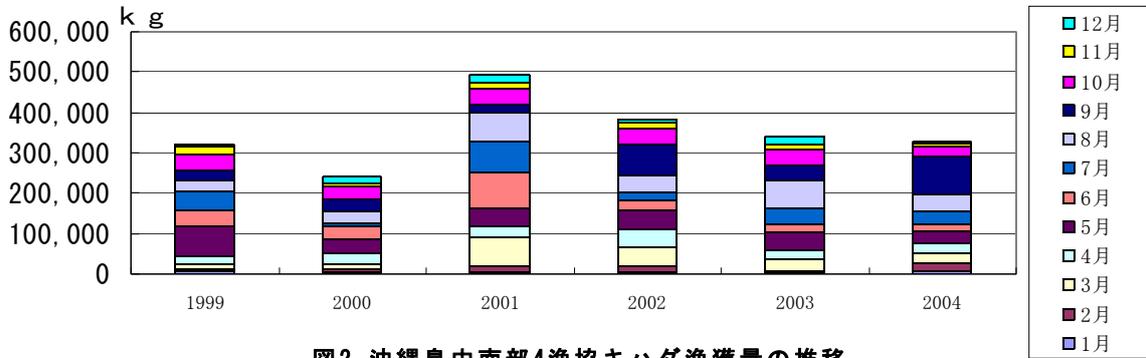


図2. 沖縄島中南部4漁協キハダ漁獲量の推移

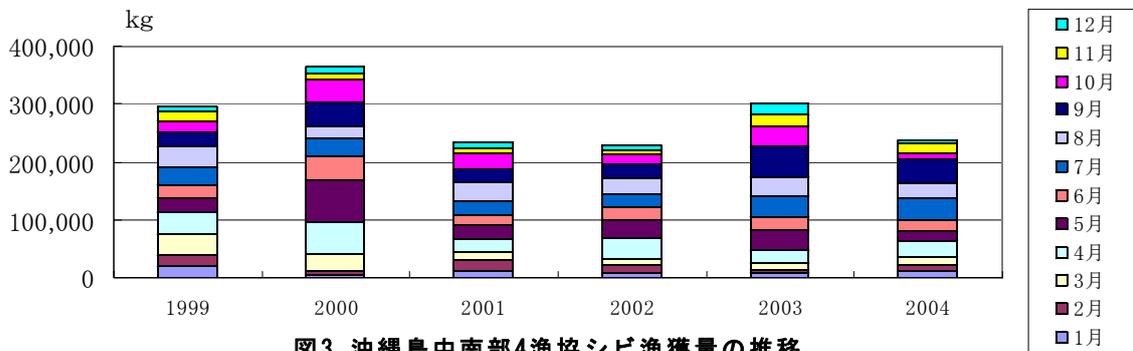


図3. 沖縄島中南部4漁協シビ漁獲量の推移

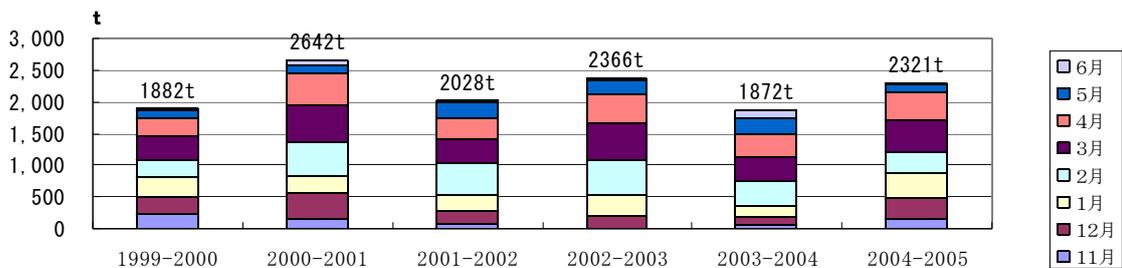


図4. 県内ソデイカ年別月別漁獲量

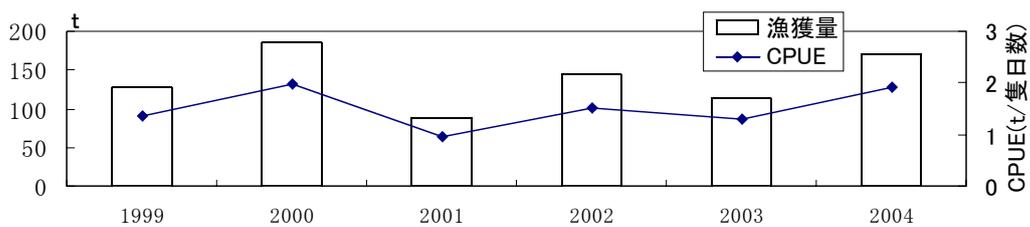


図5. 本部漁協カツオ竿釣漁獲量・CPUEの推移